

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷺塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2014 June 18

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.45

例会報告

●第2041回例会 平成26年6月18日(水) 雨

●6月はロータリー親睦活動月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 107 名中 (100) 出席71名

出席率71.00% 修正出席率91.18%
(6月4日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

在名古屋カナダ領事館領事兼通商代表
マット・フレーザー氏

●ニコボックス

「本日はカナダ領事館マット・フレーザー氏を卓話講師として招きました。ためになる話をしてもらいましょう。」

チームワークの良い環境保全委員会 本多國泰君
中野義識君、南 喜幸君、小林利之君、久保哲政君
「中山道の宿場町、「馬籠」「妻籠」に比し、東海道の「関宿」は、その知名度、活力ともに元気がありません。江戸期の東海道の宿場町が、唯一原型をとどめる、貴重な史跡の存在を、一人でも多くの方々を知っていただきたく、「関宿」上梓いたしました。過疎化が進行していると聞き及ぶ、関宿の衰退を防止し、より活性化の一助になれば幸甚です。」 鷺塚貞長会長

「幹事あと2回!!」 服部 滋幹事
「ベネファクターの表彰、先週頂きました。大変名誉なことでありありがとうございます。私にふさわしいかどうかとも不安です。」 安井隆豊君

「先日妻と二人で南イタリアを旅行しました。世界で最も美しい海岸線といわれるアマルフィ海岸やカプリ島などおいしい料理と地元のワインを楽しんできました。久しぶりに妻と楽しみました。」 榎野智之君

本日のニコボックス 5件 18,000円
累 計 217件 2,254,000円

服部 滋幹事報告

▽ビジターフィー変更のお知らせ

・名古屋名駅RCのビジターフィーが変更になります。

平成26年6月30日(月)まで

立食・和食・洋食→3,900円 カレー2,900円

↓
平成26年7月1日(火)より、

立食・和食・洋食→4,000円 カレー3,000円

・名古屋昭和RCのビジターフィーが変更になります。

平成26年6月30日(月)までのビジターフィー→4,000円

↓
平成26年7月1日(火)からのビジターフィー

通常例会→4,200円 エコ例会(軽食)→2,000円

▽当クラブ行事予定

・6月25日(水) 新旧理事会を行います。

今年度 17時~

次年度 17時30分~

懇親会 18時~

場所はか茂免です。

※自家用車はご遠慮ください。

新年度

・7月23日(水)

納涼夜間例会、18時~。

場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

お昼の例会はございません。

※本日、ご案内を配布しております。

鷺塚貞長会長挨拶

“ニール”

「ヒューストン、こちら静かの海、鷺は舞い降りた」。

2人の宇宙飛行士を乗せた着陸船の、着地を知らせる接触灯が点灯した時、アームストロング船長が発した第一声です。

しかしながらトラップを降り、左足が月面に人類初の第一歩を踏み出した時の第二声、「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍だ」、の方が歴史に残りました。

私は教科書的な第二声より第一声が、はるかに味わい深く感動的で、特に「鷺は舞い降りた」と言う件が、文学的で誠にいいと思う。

この歴史に残る第二声は、(one small step for a man)の、manの前の不定冠詞、aを抜かして発言したため、直訳すると、「これは人類にとっての小さな一歩・・・」となるとの、いささかの物議がありました。

第二次世界大戦で、ダグラス マッカーサーが、日本軍に敗れ、コレヒドールを敗退するときの捨て台詞、「We shall return」は、未来の願望なら、shallでなくwillじゃないの、とクレームがつくなど、高いレベルの人達の、歴史的瞬間の発言でさえ、この程度の間違いはあるので、willとshallの用法を、中学の英語教育で、ごちゃごちゃいうのはいかなるものですかね・・・。

着陸船イーグル号が、エンジン噴射を続けながら月面に近づいた時、着陸予定地より数マイル離れてしまい、岩石の転がる大きなクレーター上にさしかかり、これを避けるための操縦で、予定以上の燃料を費やし、着地時には燃料切れ寸前でした。

また、月面活動を終え、着陸船に乗り込んだとき、宇宙服が引っ掛かり、上昇用のエンジンスイッチを壊してしまい、ボールペンの先でスイッチを押し続けながら、マイケル・コリンズが、月の軌道を回りながら待ち受ける司令船への帰還を果たすなど、薄氷を踏むようなアクシデントが連続しています。

アームストロングのパデュー大学時代の成績は平均的なもので、決してズバ抜けた秀才ではありませんでしたが、冷静沈着、謙虚にして強運、海軍のテストパイロット時代やベトナム戦争での実践でも、九死に一生を得るような、数々のアクシデントをクリアしています。

このような性格や背景などが、国家の威信をかけ、成功の確率は概ね50%ともいわれた、人類初の挑戦のリーダーに選ばれた所以でしょう。

NASA引退後も、先輩たちのような政界進出など華やかな舞台を好まず、大学で教鞭を取るなど、鈴かな晩年を送ったようです。

ニール・オールデン・アームストロングは、心臓のバイパス手術の経過がおもわしくなく、奇しくもキュリオシティー

が火星探査を開始した2012年8月8日、82歳3日で黄泉へと旅立ちました。
「澄んだ夜に、月が微笑んでいるのを見たら、ニールのことを思い出し、ウインクをしてあげてね」
遺族よりのメッセージです。

●2013～2014年度 意義ある業績賞・特別会長賞・会長賞を受賞致しました。



卓 話

カナダについて

在名古屋カナダ領事館領事兼通商代表
マット・フレージャー



カナダへようこそ。
ビジネスは私たちにおまかせください。カナダには成長とイノベーションを求めるビジネスリーダーにとって、素晴らしい機会があります。世界でトップレベルの研究と教育、事業関連コストリスク、事業税の低さ、さらに、北米市場へのアクセスの良さを誇るカナダは投資先として大変好まれていきます。本プレゼンテーションでは、カナダという国を紹介するとともに、カナ

ダがビジネスおよび投資を行う上で素晴らしい国である理由についてご説明させていただきます。

本日は2つのテーマについてお話しします。

1. 「なぜカナダはG7諸国の中でも事業を行う上で最適な国なのか？」

——
ビジネスのやりやすさ、好調な経済成長、金融の安定性、主要市場へのアクセスの良さ、教育水準の高い労働力をはじめとする、投資企業にとっての主要なメリットをご説明いたします。

2. 「カナダに拠点を置くメリットは何か？」

——
事業関連コストや法人税の低さなど、カナダが投資先として好まれる主要な理由をご紹介します。カナダは世界中から魅力ある事業展開先として評価されており、事業競争力に関する研究ではカナダは常に投資先として最適な国のひとつに挙げられています。

世界のビジネスリーダー達は成長を求めています。成長を達成する最も効果的な方法は、高い成長率を遂げている国に進出することです。

カナダはイノベーションの精神があります。またカナダは経済に占める高等教育研究開発投資が他のG7諸国より多く、カナダの都市は国際的な主要イノベーションセンターとなっています。

カナダは投資先として外国企業から非常に人気があり、これらの企業は米国に隣接していることと、圧倒的なアクセスの良さを活用するために、カナダに拠点を設けてい

ます。

カナダは4億5,000万人の消費者を抱える統合市場（NAFTA）に加盟しています。

カナダは、北米と、名古屋をはじめとするアジアの主要港との間の最短航路を活用出来るという点からも大きなメリットがあります。

事実、カナダの主要生産拠点は米国の生産拠点より米国内の主要な市場に近い距離に立地しています。カナダの主要20都市のうち、17都市が米国との国境から車でわずか1時間30分以内の場所にあるのです！

世界のビジネスリーダー達や有能な従業員達は高いクオリティ・オブ・ライフを求めています。

カナダは世界でも最高水準のクオリティ・オブ・ライフを誇り、常に世界のトップにランクされています。

高い技術を持ち、多様な文化的背景を持つカナダの労働力は、国際企業が他の国ではなくカナダを選んだ理由として挙げる主な理由のひとつです。カナダ国民の約20%、つまり650万人近くの人々は英語またはフランス語以外の母国語を話します。

カナダでは、アジア圏の言語およびヨーロッパ圏の言語が幅広く使用されています。このような多様性は外国企業にとって大きな財産となります。

グローバルなスキルが求められる場合でも、多様な民族からなるカナダの労働力はさまざまな企業風土にも精通しているため安心です。

次に、カナダに拠点を置くことでどのようなメリットがあるかについて、いくつかの理由を挙げさせていただきます：

利点1 事業関連総コストがG7諸国の中でカナダが最も低い。

人件費、輸送費、水道光熱費、税金は外国企業の収益にとって重要な要素です。カナダにはG7諸国の中でも最も優れたコスト構造が存在します。

利点2 カナダでは製造関連の関税がゼロ。

カナダは貿易や投資に対する障壁の撤廃に向けた措置を進めています。カナダ政府は2010年度予算の中で、すべての製造業投入物に対する関税を2015年までにゼロにする新たなイニシアチブを発表しました。

利点3 カナダは研究開発に対して世界で最も手厚い税制上の優遇措置を行っています。

利点4 健全な銀行システム。

カナダの銀行システムは世界経済フォーラムにより世界で最も健全であると評価されました。カナダでは金融危機による影響は他の先進国よりはるかに小さく、低い借り入れコストや安定した信用成長を維持しています。

最後に、主要な多国籍企業はカナダをグローバル・バリューチェーンの一部として活用しています。

世界のビジネスリーダー達はカナダの友好的なビジネス環境を評価し、カナダに多大な投資を行ってきました。

2001年から2010年の間で、カナダへの海外直接投資（FDI）は累計で3,594億米ドルに達しました。

これは世界第8位の規模で、他の主要な海外直接投資先であるブラジル、インド、メキシコ、ロシアをしのぎます。御社のロゴもこのスライド上でご紹介する機会が来ることを心より願っております。

例会	月日	今後の予定
第2042回	6.25	鷲塚貞長会長
第2043回	7.2	吉田正道新会長・小栗正章会計
第2044回	7.9	中部大学教授 和崎 春日氏 「大量移動時代における 国際関係のスピリット」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。